

日独国際シンポジウム  
「人口動態の変化とグローバルな人の移動」  
—求められる政策的対応とは?—

「グローバル化する人の移動」ともいえる国境を越える人の移動の活性化は、世界的なテーマとなっています。しかし、その一方で日独両国は、反グローバリズム、反難民・移民の世界的な風潮の高まりの真只中にあります。

こうした大きく変化する国内外の情勢において、人口動態による課題に直面している日独にとって、海外から人をどう受け入れ、安定した社会を維持しながら経済や地域の活力にどう結び付けるかは最重要な課題であります。

本シンポジウムでは、日独双方から本テーマに造詣の深い政治家、行政、学者・専門家等にご参加いただき、両国における現在の取り組みと課題を踏まえつつ、日独両国が本テーマにどう向かいあい、どう取り組むべきか、日独に求められる政策的対応について議論を行います。

1. **共催** (公財) 日本国際交流センター、フリードリヒ・エーベルト財団  
**後援** ベルリン日独センター

2. **日時** 2017年2月22日(水) 13:00~17:30 (12時30分受付開始)

3. **場所** 国際文化会館 「岩崎小彌太記念ホール」  
〒106-0032 東京都港区六本木5丁目11-16

4. **プログラム (日独同時通訳付き、無料)**

13:00~13:05 **開会挨拶**

大河原昭夫 (公財) 日本国際交流センター理事長

13:05~14:05 **日独政治家による基調講演**

ロルフ・ミュッツェニヒ (Dr. Rolf Mützenich ドイツ連邦議会議員、社会民主党)

河野太郎 衆議院議員 (自民党、前内閣府特命担当大臣)

中川正春 衆議院議員 (民進党、元文科大臣)

#### 14 : 15~15 : 35 パネルディスカッション「外国人政策—政治社会的視点から」

司会 磯山友幸（ジャーナリスト、元日経新聞記者）

##### 日本側

河野太郎 衆議院議員（自民党、前内閣府特命担当大臣）

中川正春 衆議院議員（民進党、元文科大臣）

実哲也（日経新聞論説副委員長）

##### ドイツ側

ロルフ・ミュッツェニヒ（社会民主党議員）

カトリン・ヒルゼラント（Katrin Hirsland,  
ドイツ連邦移民難民庁総合政策企画局長）

#### 15 : 50~17 : 30 パネルディスカッション「外国人の社会統合—地域・労働市場の視点から」

司会 ミシェル・アウガ (Michèle Auga, フリードリヒ・エーベルト財団国際対話部長)

##### 日本側

志甫啓（関西学院大学准教授）


毛受敏浩（日本国際交流センター執行理事）

##### ドイツ側


シュテファン・ジーヴェルト（Dr. Stephan Sievert,  
ベルリン人口開発研究所移民・労働市場部長）

マルクス・ヴィンマー (Markus Wimmer, シュトラウビング市社会サービス室長)

#### 主催者について

（公財）日本国際交流センター 

1970年に設立された民間の立場から国際的な協力を推進する公益法人。民間外交のパイオニア」として、日米、日欧、日アジアなどの政策対話や人物交流、調査研究等を通じて、対外関係の強化、地球規模課題への貢献、社会の多様性の促進に取り組んでいる。東京とニューヨークにオフィスを持つ。

フリードリヒ・エーベルト財団 

ドイツ連邦共和国の非営利の政治財団。1925年に設立され、民主主義の基本的価値に則り教育・研究・国際協力を通して公共政策の発展に努めている。ドイツ初の民主的な選挙により選出されたフリードリヒ・エーベルトに因んで名付けられ、活動範囲は世界100カ国以上にわたる。東京事務所は1967年に開設され、日独の対話促進に尽力している。